2024年 一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会

会員総会

日　　時：2024年2月4日（日）　12時00分～12時15分
場　　所：京都民医連中央病院
　　ZoomによるWeb会議

《 議題 》

審議事項：

1. 2023年度事業報告　資料1
2. 2024年度決算・2023年度予算　資料2
3. 2023年度事業計画　資料3

以上

2024 年 2 月 4 日
会員総会

第 1 号議案　2023 年度事業報告（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

1. 理事会・社員総会の開催状況

・第 1 回理事会を 2 月 5 日（日）に開催し、2022 年度事業及び決算報告と 2023 年度の予算及び事業計画について審議し、承認を得た。続く定時社員総会も同様に報告を行い、承認を得た。

・第 2 回理事会を 7 月 9 日（日）に開催し、2024 年第 15 回学術研究大会について審議し、承認を得た。

・第 3 回理事会を 11 月 12 日（日）に開催し、各委員会の今後の活動について審議し、承認を得た。

2. 学術研究会の開催

・2023 年 2 月 5 日（日）に「後継者をどう育てるか？～組織の成長のカギと次世代の看護管理者の育成～」をテーマとしてハイブリッド開催（東京都看護協会＋WEB）し、参加者会員・非会員合わせて 195 名の参加があった。

3. 「重症度、医療・看護必要度」に関する研修の実施状況

【2023 年 7 月 1 日～9 月 30 日】　「’23「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修」

・参加者数:14,696 人（オンラインセミナー）

・内訳（職種）

1.看護職員：14,427 人　2.医師：5 人　3.薬剤師：4 人　4.理学療法士：2 人　5.作業療法士：2 人　6.言語聴覚士：0 人　7.管理栄養士：0 人　8.助産師：231 人　9.介護職員（看護補助・看護助手）：1 人　10.　ソーシャルワーカー：1 人　11.事務職員：16 人　その他：3 人　0.未回答：4 人

・内訳（役職 ※看護職員：14,427 人のみ回答）

看護部長：73 人　2.副看護部長：155 人　3.看護師長：1,273 人　4.副看護師長・師長補佐：1,077 人　5.主任：2,129 人　6.副主任：628 人　7.リーダー：1,223 人　8.スタッフナース：7,809 人　9.その他：59 人　0.未回答：1 人

4. 看護必要度委員会活動状況

1）看護必要度実践活用ワーキング（ワーキング会議開催　12 回）

・看護必要度研修企画を検討した。「退院支援への看護必要度の活用」をテーマに、2024 年３月研修会を行う予定である。

2）看護必要度調査・研究ワーキング（ワーキング会議開催　10 回）

・調査研究活動「在宅における看護必要度評価の可能性（プレインタビュー調査）」について

在宅療養者の ADL 向上や転倒防止への看護必要度評価の活用の可能性を探るため、2023 年 3～4 月訪問看護ステーション７施設に勤務する経験 3 年以上の看護師 14 名を対象に、対面・WEB・電話による半構成的インタビュー調査を実施。オンラインホワイトボードソフト「miro」にて、カテゴリに分類した。結果、≪病院と在宅の情報共有≫≪評価ツール≫≪評価実施の可能性≫≪評価者の負担とメリット≫についての示唆が得られた。

・看護必要度活用の好事例（ベストプラクティス）収集と HP 掲載について
12 月 1 日学会誌編集委員長、看護必要度推進活用委員会メンバーで協議の結果、①学会誌への掲載を優先し論文投稿を働きかける。②単独 HP 公開の必要性、掲載内容の質量、リスク管理等について、看護必要度活用推進委員会全体で検討することとした。

5. マネジメントスキル・ワークショップ実施状況

・人材育成コース 3 日間コース　　会場　Web　　形式　Zoom によるオンライン開催

・9 月 10 日（日）
・9 月 24 日（日）
・10 月 15 日（日）
} 8 施設から延べ 9 名参加

・出張ワークショップ

・青梅市立総合病院　1 月 14 日（土）・15 日（日）：42 名
・金沢医科大学病院　2 月 18 日（土）：24 名、6 月 3 日（土）：41 名、10 月 14 日（土）：45 名
・済生会向島病院　7 月 22 日（土）・23 日（日）：25 名
・北野病院　10 月 28 日（土）：23 名、12 月 2 日（土）：22 名

6. 全国看護部長会実施状況

・第 7 回　全国看護部長会を 7 月 29 日（土）に Web セミナーにて開催。
主催：本学会　　参加者のべ 13 名
テーマ：「これからの看護と、ケア体制を再考する」

7. 学会誌発行

投稿が 2023 年は 11 月と 12 月に各々1 件あり、12 月末時点で査読進行中である。

8. 患者安全マネジメント委員会

委員会開催　９回

１．医療安全管理者の業務に関する具体的事例と情報の収集と提供
　① 「医療安全管理者　お役立ちミニ情報」発信　３号～１２号
　② You Tube による動画配信開始
２．医療安全管理者に向けた研修開催の検討
　① 他団体主催の医療安全管理者養成研修の紹介
　② 医療安全管理者のマネジメントスキルアップのための研修の検討
３．相互支援や情報共有できる場の検討

9. 事務局の委託

事務局を、日本ヘルスケアテクノ㈱に委託した。

10. 会員状況報告

総会員数	2023 年 12 月 31 日時点		110 名
内	入会	2023 年 12 月 31 日までに	8 名
	退会	2023 年 12 月 31 日までに	6 名

会費未納者数 2023 年 12 月 31 日時点		45 名
内	2022 年分未納	35 名
	2023 年分未納	45 名

一般社団法人　日本臨床マネジメント学会
令和5年度　決算書案のご報告

令和6年2月3日

損益の状況

1 概要

通常の事業活動収支（経常収支）が、△５５０万円、
その他収入を含めた経常収支が、△１８０万円、
当期純損益は△１８０万円です。

2 収支内容について

１．事業活動収支について

ワークショップ等の事業収支は、Covid-19による行動制限の緩和などもあり
事業収入予算５００万円に対して、実績６６２万円と、予算の１３３％を達成する事ができました。
また、ワークショップ等の事業支出は、予算４５０万円に対して、実績５６９万円で、
予算の１２６％と支出が増加しました。
その結果、事業活動収支は、予算５０万円に対して、実績は９３万円と
大きくプラスとなりました。

２．事業収支差額について（いわゆる営業利益について）

事業活動収支から一般管理費を控除した事業収支差額は、
予算が△４５５万円、実績が△５４９万円となり、９４万円の予算超過となりました。

３．経常収支について

雑収入が、予算５００万円に対して実績が３７０万円と１３０万円少なくなりました。
ヴェクソンインターナショナルからのロイヤリティが予算より１３０万円
少なかったことによります。

以上の結果、学会全体の当期利益は、
予算が４４万５千円であったのに対して、実績は△１８１万８千円となりました。

財産の状況

現預金残高	１５３１万円	（令和５年１２月３１日現在）		
未収金	２０８万円			
	内訳	会費未収納	2019～22年	９８万円
			2023年	４２万円
		北野病院ワークショップ		６８万円

その他

１．ワークショップ実施費用の精算について

北野病院のワークショップの最終開催日は１２月の初めでしたので、
ワークショップ実施費用は精算が完了しております。

予算・実績 報告書（案）

自　令和　５年　１月　１日

至　令和　５年１２月３１日

一般社団法人　日本臨床看護マネジメント学会

東京都千代田区内神田
1-3-9 KT-2ビル

貸　借　対　照　表

（単位：円）

一般社団法人 日本臨床看護マネジメント学会　　令和 5年12月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 17,413,611】	【流動負債】	【 258,000】
現金及び預金	15,313,628	前受金	258,000
未収入金	2,089,423	負債の部計	258,000
前払費用	10,560	純資産の部	
		【株主資本】	【 17,155,611】
		［基金］	［ 2,714,291］
		［利益剰余金］	［ 14,441,320］
		（その他利益剰余金）	（ 14,441,320）
		繰越利益剰余金	14,441,320
		純資産の部計	17,155,611
資産の部計	17,413,611	負債・純資産の部計	17,413,611

1　現預金内訳

現金		20,147
預金	三菱UFJ会費口座	7,374,496
	みずほﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ用口座	7,918,985
		15,313,628

2　未収金内訳

会費（2019～21年分）	600,000
会費（2022年分）	388,000
会費（2023年分）	420,000
10/28 北野病院WS①	332,303
12/2　北野病院WS②	349,120
	2,089,423

3　前払費用

2/23高岡市民病院WS	10,560

4　前受金

会費（2024年分）	60,000
WS	198,000
	258,000

事業活動収支計算書

（単位：円）
自 令和 5年 1月 1日
至 令和 5年12月31日

一般社団法人 日本臨床看護マネジメント学会

科	予算金額(年間12ヶ月)		実績（1～12月）		
【事 業 収 益】					
会 員 年 会 費 収 入	1,300,000		1,110,000		
学 術 研 究 会 収 入	500,000		1,669,000		
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ参加収入	2,500,000		3,772,162		
研修会・部会収入	700,000	5,000,000	75,000	6,626,162	
【事 業 費 用】					
学 術 研 究 会 費 用	600,000		1,262,431		
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ実施費	2,000,000		2,621,163		
研究運営費	200,000		0		
学会・学術論文管理費	200,000		165,000		
研修会・部会費	1,000,000		998,047		
理事会費	500,000		643,795		
合 計	4,500,000	4,500,000	5,690,436	5,690,436	
事 業 活 動 収 支		500,000		935,726	
【一 般 管 理 費】		5,055,000		6,435,619	
事 業 収 支 差 額		△4,555,000		△5,499,893	
【そ の 他 収 益】					
受 取 利 息	200		176		
雑 収 入	5,000,000	5,000,200	3,699,720	3,699,896	※2
経 常 収 支		445,200		△1,799,997	
【特 別 損 益】					
前 期 損 益 修 正 益			1,000		
前 期 損 益 修 正 損			20,000	19,000	
当 期 純 利 益		445,200		△1,818,997	

※1　一般管理費のうち支払手数料　　4月 ｿｰｼｬﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ＆ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾗﾎﾞ　ｺﾝﾃﾝﾂ開発費用　　1,984,576 円

※2　雑収入　　ｳﾞｪｸﾂｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ　7月入金分　　73,890 円
ｳﾞｪｸﾂｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ　11月入金分　　3,625,170 円

一般管理費内訳

（単位：円）

自 令和 5年 1月 1日

一般社団法人 日本臨床看護マネジメント学会　　至 令和 5年12月31日

科目	予算金額(年間12ヶ月)		実績（1～12月）	
事務委託費	3,470,000		3,553,051	
消耗品費	280,000		0	
租税公課	80,000		80,367	
接待交際費	0		83,904	
旅費交通費	300,000		0	
通信費	25,000		0	
支払手数料	800,000		2,618,297	※1
諸会費	100,000		100,000	
合計		5,055,000		6,435,619

※1　支払手数料　　4月 ｿｰｼｬﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ＆ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾗﾎﾞ ｺﾝﾃﾝﾂ開発費用　1,984,576 円

（参考資料）　収支一覧　2023年1月～12月

科目	名称	収入	支出		差額
				ｵｰｾﾝﾃｨｯｸ	
会費	年会費	1,110,000	0	0	1,110,000
学研	2/5 学術研究大会	1,669,000	1,262,431		406,569
WS	1/14・15 青梅WS	600,000	215,314	200,000	184,686
WS	2/18 金沢WS①	334,840	127,370	100,000	107,470
WS	6/3　金沢WS②	540,540	131,370	125,502	283,668
WS	公募WS開催支援費（チラシ送付）	0	132,531		△ 132,531
WS	7/22・23向島WS	658,132	149,013	200,000	309,119
WS	公募WS　人材育成	335,000	321,431	150,000	△ 136,431
WS	10/14　金沢WS③	622,227	135,828	171,839	314,560
WS	10/28　北野病院WS①	332,303	128,197	100,000	104,106
WS	12/2　北野病院WS②	349,120	132,768	100,000	116,352
	計	3,772,162	1,473,822	1,147,341	1,150,999
管理費	2022年分学会誌編集委員会	0	165,000	0	△ 165,000
委員会	12/19 第1回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸ(	0	35,000	0	△ 35,000
委員会	1/ 7 第2回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	35,000	0	△ 35,000
委員会	2/13 第3回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	35,000	0	△ 35,000
委員会	3/ 7 第4回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	35,000	0	△ 35,000
委員会	3/28 第5回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	31,000	0	△ 31,000
委員会	5/17 第6回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	39,340	0	△ 39,340
委員会	5/23 第7回看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	35,000	0	△ 35,000
委員会	6/30 看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	18,000	0	△ 18,000
委員会	8/15 看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	27,000	0	△ 27,000
委員会	9/21 看護必要度活用推進委員会調査・研究ﾜｰｷﾝｸﾞ	0	39,000	0	△ 39,000
委員会	看護必要度活用推進委員会調査研究WGｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	0	26,000	0	△ 26,000
委員会	2/13 看護必要度活用推進委員会	0	43,000	0	△ 43,000
委員会	4/14 看護必要度活用推進委員会	0	26,000	0	△ 26,000
委員会	3/9 第6回患者安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会	0	33,482	0	△ 33,482
委員会	4/17 第7回患者安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会	0	83,824	0	△ 83,824
委員会	5/11 第8回患者安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会	0	40,600	0	△ 40,600
委員会	7/6 第9回患者安全マネジメント委員会	0	45,900	0	△ 45,900
委員会	8/31 第10回患者安全マネジメント委員会	0	46,114	0	△ 46,114
委員会	10/5 第11回患者安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会	0	35,197	0	△ 35,197
委員会	11/2 第12回患者安全マネジメント委員会	0	35,981	0	△ 35,981
委員会	12/7 第13回患者安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会	0	33,657	0	△ 33,657
部長会	7/29 第7回部長会	75,000	172,040	0	△ 97,040
委員会	9/6 学会運営検討会	0	46,912	0	△ 46,912
	計	75,000	998,047	0	△ 923,047
理事会	2022年度	0	18,000	0	△ 18,000
理事会	2/5 第1回	0	353,350	0	△ 353,350
理事会	7/9 第2回	0	147,125	0	△ 147,125
理事会	11/12第3回	0	125,320	0	△ 125,320
	計	0	643,795	0	△ 643,795
	合　計	6,626,162	4,543,095	1,147,341	935,726

事業費用計　5,690,436

令和６年度　予算設定方針について

原則として、令和5年度の実績をベースにしています。

1 収入について

会員年会費、学術研究会、ワークショップ等収入については、
令和5年分を踏襲しました。

2 費用について

学術研究会費用、研究運営費、学術論文管理費については令和5年の実績を踏襲していますが
実績より圧縮した金額としています。

3 一般管理費について

一般管理費は令和5年実績から、コンテンツ開発費用を省いております。

4 その他収益について

雑収入には、ヴェクソンインターナショナルからのロイヤリティ収入を計上していますが
令和5年度実績を踏襲し、３７０万円としています。

以上から、最終的な収支予算は、プラス400,150円としています。

以上

予 算 計 画 書（案）

自　令和　６年　１月　１日

至　令和　６年１２月３１日

一 般 社 団 法 人　日本臨床看護マネジメント学会

東京都千代田区内神田
1-3-9 KT-2ビル

予算収支計算書（案）

（単位：円）

自 令和 6年 1月 1日

一般社団法人 日本臨床看護マネジメント学会　　至 令和 6年12月31日

科　　目	金　　額		備考	
【事業収益】				
会員年会費収入	1,100,000		令和5年実績相当	
学術研究会収入	1,700,000		↑	
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ参加収入	4,000,000		令和5年度より回復	
研修会･部会収入	100,000	6,900,000	令和5年実績相当	
【事業費用】				
学術研究会費用	1,200,000		令和5年実績相当	
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ実施費	2,700,000		↑	
研究運営費	200,000		↑	
学会・学術論文管理費	150,000		↑	
研修会･部会費	800,000		↑	
理事会費	650,000		↑	
合　　計	5,700,000	5,700,000		
事業活動収支		1,200,000		
【一般管理費】		4,500,000	令和5年実績相当	※2
事業収支差額		△3,300,000		
【その他収益】				
受取利息	150			
雑収入	3,700,000	3,700,150	令和5年実績相当	※1
経常収支		400,150		
当期純利益		400,150		

※1　ヴェクソンインターナショナルからのロイヤリティ収入を370万円と見積もっています。
※2　令和6年度予算には、コンテンツ開発費用は含めておりません。

一般管理費内訳書（案）

（単位：円）

自 令和 6年 1月 1日

一般社団法人 日本臨床看護マネジメント学会　　至 令和 6年12月31日

科目	金額	
事務委託費	3,500,000	
消耗品費	100,000	
租税公課	80,000	
旅費交通費	100,000	
通信費	20,000	
支払手数料	600,000	※
諸会費	100,000	
合計		4,500,000

※　令和6度の支払手数料には、一般社団法人ｿｰｼｬﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ＆ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾗﾎによる、コンテンツの開発費を予算組入れしておりません。

2024 年 2 月 4 日
会員総会

第 3 号議案　2024 年度 事業計画（2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

1. 理事会・社員総会の開催

2 月 3 日（土）に第 1 回理事会、学術研究大会に合わせて 2 月 4 日（日）に社員総会を開催する。
その後 7 月 28 日（日）に第 2 回、11 月 17 日（日）に第 3 回理事会の開催を予定している。

2. 学術研究会の開催

日　時：2024 年 2 月 4 日（日）10：00～16：00
場　所：ハイブリッド開催（京都民医連中央病院＋WEB）
テーマ：看護の価値をどう可視化するか
大会長：坂田　薫　監事

3.「重症度、医療・看護必要度」に関する研修会

(1)【2024 年 1 月 20 日～5 月 20 日】看護必要度ステップアップ研修『2024 年度診療・介護・障害サービス報酬（トリプル）改定と「重症度、医療・看護必要度」データを用いた「適正な人員配置」及び「医療・介護、障害分野との連携（地域連携）」』
参加者(予定)数：1000 人（オンラインセミナー）
(2) 2024 年 7 月に「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修をオンラインセミナーで実施予定としている。
(3) 2025 年 1 月に看護必要度ステップアップ研修をオンラインセミナーで実施予定としている。

4. 看護必要度活用推進委員会

１）看護必要度実践活動ワーキング
・第１回　2024 年 3 月 10 日　半日「退院支援に看護必要度を活用しよう！」　Web 研修
・第２回　2024 年 8 月実施予定　（継続研修）Web 研修
・看護必要度活用実践事例の論文化の検討
２）看護必要度調査・研究ワーキング
令和５年度に引き続き、「在宅における看護必要度評価の活用の可能性」について調査研究を継続する。急性期入院治療を終えて自宅退院した後期高齢者を対象に、「日常生活機能評価表」13 項目評価及び状態記録からデータ収集する。

5. マネジメントスキル・ワークショップの開催

施設等へ出向いてのワークショップ
・市立青梅総合医療センターのマネジメントスキル・ワークショップを実施予定
2024 年 1 月 13 日（土）・14 日（日）＋ 8 月 31 日（土）フォローアップ研修

・北野病院ワークショップ　2024 年 1 月 27 日（土）実施予定
・高岡市民病院主催　マネジメントスキル・ワークショップを実施予定
2024 年 2 月 23 日（金・祝）実施予定
・金沢医科大学病院ワークショップ　2024 年に 2 回実施予定

6. 全国看護部長会実施状況

・第 8 回　全国看護部長会を 2024 年 2 月 3 日（土）
会場：京都民医連中央病院
テーマ：「これからの看護とケア体制を再考する～実践編～」
→　参加者数および、能登半島地震によりご登壇いただく方が被災されている状況を鑑み、延期としました。

7. 学会誌の発行について

投稿論文については随時募集を行い、採用された論文については J-STAGE にて公開する。

8. 患者安全マネジメント委員会について

1. 情報発信の継続
① 行政や他団体の動向に関すること
② 活用できるフォーマット等の提供
③ マネジメントスキルの関すること
④ その他
2. 委員会協力者（モニター体制）の確保
① 発信した情報の評価
② 臨床の医療安全に関する情報収集
3. 医療安全管理者に必要なマネジメント研修の検討

9. 広報及び会員への情報提供について

ホームページの情報を適宜更新して、会員へ情報提供を行う。

10. その他

必要に応じて、学会活動の推進に資する活動を行う。